



ポツポバス出発進行

系列の幼稚園3園を統合して2007年に開設された八戸学院幼稚園。前身の多賀台幼稚園が19年ほど前に導入した、蒸気機関車デザインのバス(通称・ポツポバス)を現在も利用する。

本物のD51形蒸気機関車(愛称・デゴイチ)と見間違えそうな、黒を基調とした重厚な外見に加え、汽笛や走行音、蒸気も再現できる本格仕様。「早く乗りたい

八戸学院幼稚園 (八戸)



満江悠心ちゃん

最初に見た時は、本物の汽車かと思っぴっくりしたよ。運転席も格好いいから、いつかハンドルを握るのが夢なんだ。

から、と、園児の登園準備がスムーズになる。(道台康子園長)こともあり、他のバスより人気は断トツ。学期ごとに「路線」を変更するなど、園児みんなが乗車できる機会を工夫している。

集まれ! キャラバス

～青森県南地方の幼稚園から～

幼稚園に通う子どもたちを乗せる送迎バス。近年では、個性的なデザインを施した「キャラクターバス」が増え、街中で注目を集めることも。子どもが幼稚園に慣れ親しむ最初のステップになることから、多くの保護者にも歓迎されている。青森県南地方の幼稚園で実際に運用されているキャラバスの一部を紹介する。(井上周平)